

都市づくりの指針にご意見を

「札幌市都市計画マスタープラン」と
「都市再開発方針」の素案まとまる

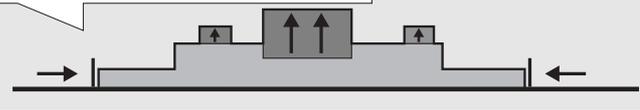
人口増加の鈍化や少子高齢化の進展など、都市を取り巻く環境は大きく変化しています。そうした中、今後も札幌が魅力と活力あふれる都市づくりを進めていくためには、既存の市街地を有効に再生・活用しながら、きめ細かな取り組みを進めていかなければなりません。そのため、市では、これからの都市づくり（道路や公園の整備、建築物の規制誘導、緑地の保全創出など、主にハード面の整備を中心とする取り組み）の全体的な指針となる二つのプラン（素案）を作成しました。これらは、皆さんと協働を進める今後の都市づくりの基本となるものです。

都市づくりの理念

持続可能なコンパクト・シティへの再構築をともに進めよう



市街地の拡大の抑制を基調とし、既存の都市基盤を有効活用します



都市づくりの力点

- ① 都心の再生・再構築
- ② 多中心核都市構造の充実・強化
- ③ 多様な住まい方を支える質の高い居住環境の実現
- ④ 市街地の外の自然環境の保全と活用
- ⑤ オープンスペース・ネットワークの充実・強化

素案への意見を募集(10/31まで)

素案の詳細は、パンフレットやホームページをご覧ください。また、素案をテーマとするパネル展も各区で実施します(22頁参照)。市では、寄せられた意見を基にさらなる検討を重ね、来春に二つのプランを正式に決定する予定です。

パンフレット市役所5階都市計画課・2階市政情報センター、区役所、区民センター、地下街ふれあい広場で配布中。パネル展の会場にも設置。

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/keikaku/mas-ter/soan.htm/>

【詳細】都市計画マスタープランについては都市計画課(211)2506、都市再開発方針については地域計画課(211)2545

—都市計画マスタープラン—

北海道が定める広域のマスタープラン(左ページ参照)との整合を図りながら、本市全体の都市づくりに関する長期的な指針として新たに定めるものです。素案の策定に当たっては、公募による市民を交えた幅広い検討を重ね、その内容はニュースレターなどでお伝えしてきました。

これまでの計画的な市街地整備の結果、札幌の街は基礎的な都市基盤を高い水準で確保しているといえます。そうした状況を踏まえ、素案では、成熟社会への移行に対応するための基本方向を示すとともに、これからの都市づくりの理念や原則、基本目標などを掲げています。

また、総合的に取り組むべき重点テーマを「都市づくりの力点」として明確化しているのも特徴です。

—都市再開発方針—

古くから開けてきた市街地を計画的に再開発していくための指針です。昭和60年の策定以来、二度の見直しを行ってきましたが、このほど、都市計画法の改正により新たに策定し直すこととなりました。

素案では、計画的な再開発を必要とする地域を「1号市街地」と規定し、協働によるまちづくりを推進。また、重点的に再開発事業を促進する「2号再開発促進地区」なども定めて、取り組みの重点化も図っていく考えです。